

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

2件(O157)の報告があり、今年の累計は11件となりました(次頁参照)。

腸管出血性大腸菌感染症は、症状のないものから、腹痛や下痢を伴うもの、血便を伴うもの、さらには重症化して溶血性尿毒症症候群(HUS)を発症するものなど症状は様々ですが、子どもと高齢者は重症化しやすいので特に注意が必要です。予防のため、食品は十分に加熱し、手洗いを励行しましょう。

2. RSウイルス感染症

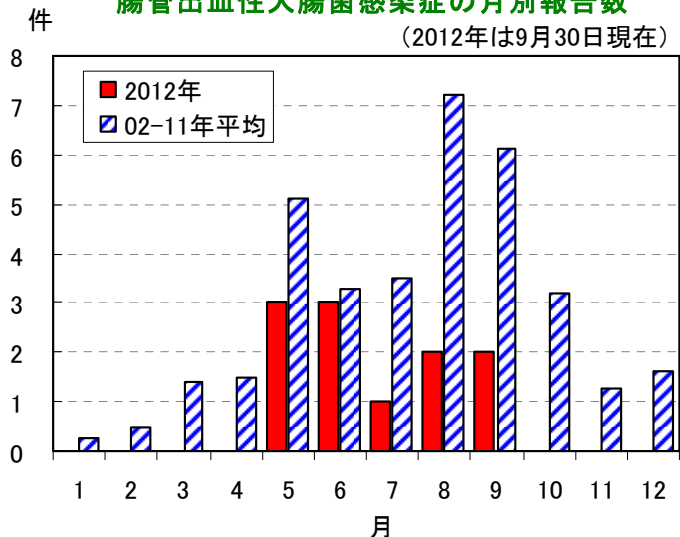
28人(定点当たり1.17人)報告されています。全国的にも、この時期としては多い状態が続いており、引き続き注意が必要です。

3. 後天性免疫不全症候群

1件の報告があり、今年の累計は14件(エイズ患者6件、HIV感染者8件)となりました。

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数

(2012年は9月30日現在)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.37		ヘルパンギーナ	5	0.21	0.30	
咽頭結膜熱	2	0.08	0.18		流行性耳下腺炎	9	0.38	0.58	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	20	0.83	0.69	▲	RSウイルス感染症	28	1.17	0.16	▶
感染性胃腸炎	89	3.71	3.06	◀	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	15	0.63	0.67	▲	流行性角結膜炎	2	0.25	0.98	
手足口病	3	0.13	0.68		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	-	-	0.11		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.17	
突発性発しん	18	0.75	0.59		マイコプラズマ肺炎	5	0.71	0.29	
百日咳	-	-	0.19		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減 ▲ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ▲ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ◀ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ◻ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	224	男性(30歳代)・1人、女性(50歳代)・1人、男性(70歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	11	女性(60歳代)・O157、男性(70歳代)・O157
5	急性脳炎	1	10	女性(10歳未満)
5	後天性免疫不全症候群	1	14	男性(30歳代)・エイズ

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第35週	-	4	6	61	5	2	3	11	4	8	6	15	-	2	1	-	8	-
		第36週	-	4	16	89	21	3	3	9	1	11	3	20	-	3	-	-	2	-
		第37週	-	3	15	85	11	1	2	11	5	8	8	20	-	2	-	2	4	-
		第38週	-	1	11	80	10	5	2	6	3	8	2	29	1	5	-	3	2	-
定点当り	広島市	第35週	-	0.17	0.25	2.54	0.21	0.08	0.13	0.46	0.17	0.33	0.25	0.63	-	0.25	0.14	-	1.14	-
		第36週	-	0.17	0.67	3.71	0.88	0.13	0.13	0.38	0.04	0.46	0.13	0.83	-	0.38	-	-	0.29	-
		第37週	-	0.13	0.63	3.54	0.46	0.04	0.08	0.46	0.21	0.33	0.33	0.83	-	0.25	-	0.29	0.57	-
		第38週	-	0.04	0.46	3.33	0.42	0.21	0.08	0.25	0.13	0.33	0.08	1.21	0.13	0.63	-	0.43	0.29	-
全国	全国	第37週	0.23	0.38	0.89	3.22	0.42	0.98	0.07	0.71	0.03	0.88	0.40	1.21	-	0.60	0.01	0.08	1.10	0.03
		第38週	0.18	0.25	0.70	2.72	0.42	0.89	0.05	0.54	0.02	0.57	0.32	1.14	-	0.51	0.02	0.06	1.05	0.03

■新たに判明した病原体検出状況

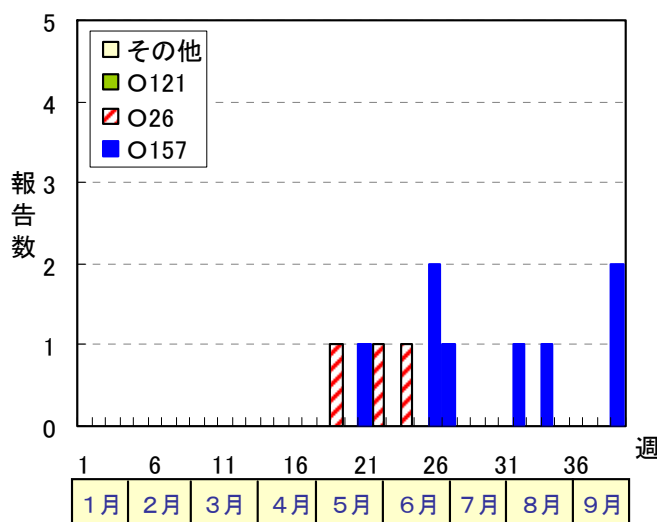
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の呼吸器疾患 発熱(40.2)	気管支炎 肺炎	1	女	2012/08/14	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患 発熱(38.4)	肺炎 心筋炎 ショック症状	24	女	2012/08/19	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型

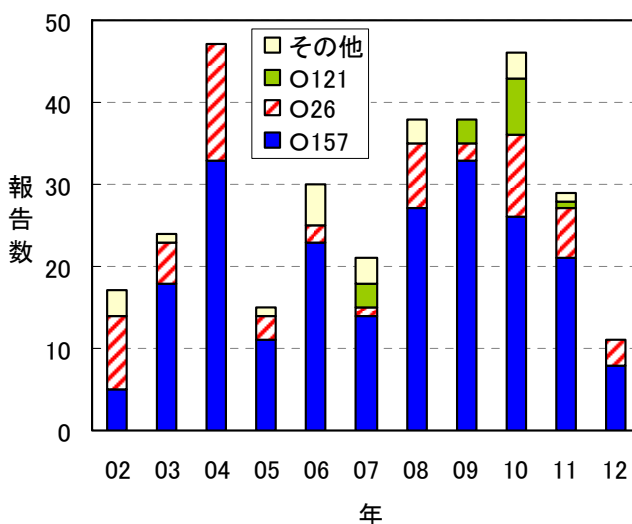
* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における腸管出血性大腸菌感染症の発生動向

型別報告数の推移(2012年9月30日現在)



年間報告数の推移(2012年9月30日現在)



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
 なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2012年第39週(9月24日～9月30日)